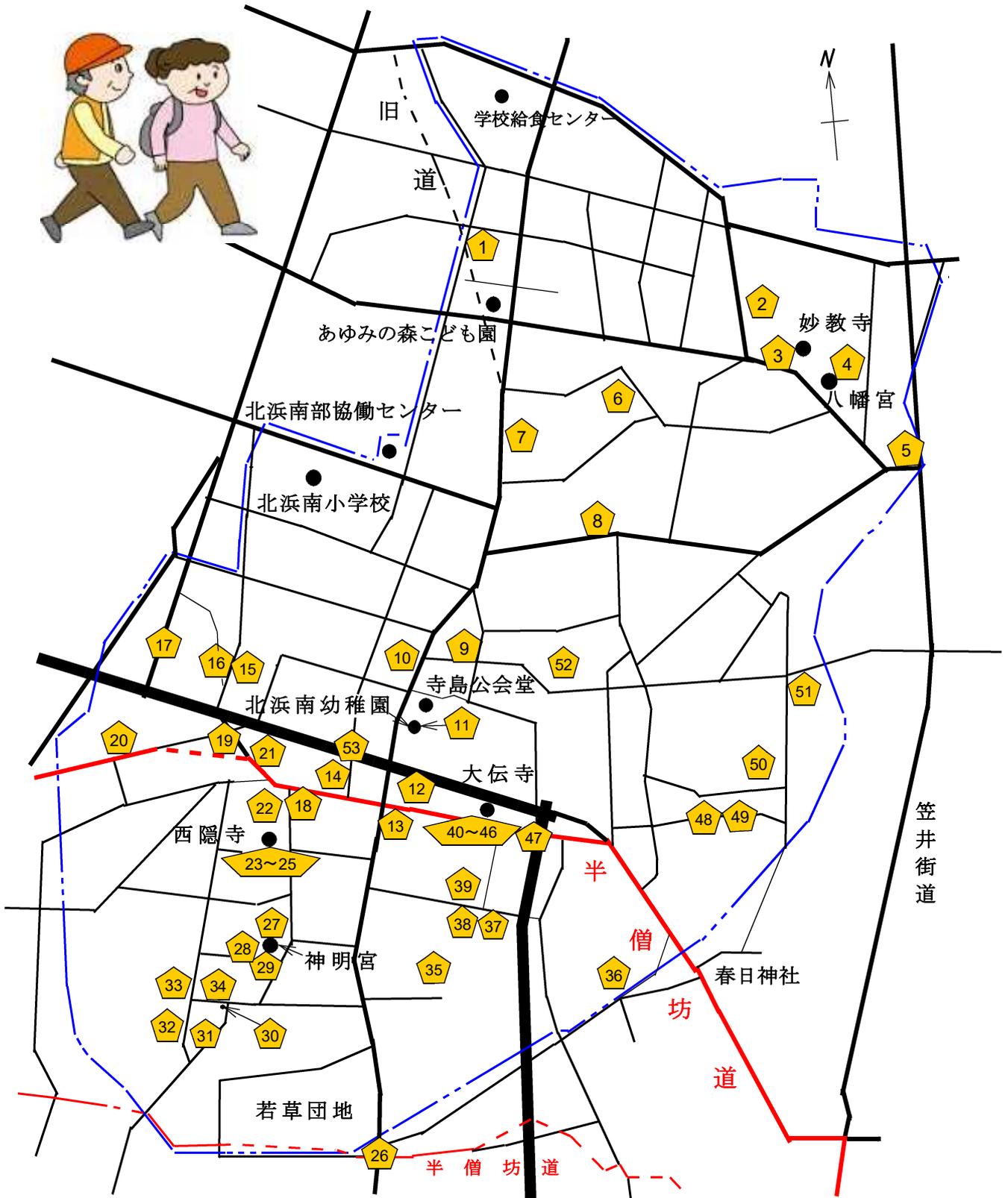


「寺島の歴史を探る」

寺島歴史マップ



- 1 **神明社内宮跡 (字富永)**
平安時代後期に美蘭御厨みそのみくりやを守護する神社として伊勢神宮より勧請されたと推定される。朱印5石6斗。明治以前の神官は花井文右衛門家。明治7年神明宮に合祀。
- 2 **馬頭観音 私**
大正7年、石間家の馬の供養のため建立。
- 3 **圓詔山妙教寺**
天正元年創立の日蓮宗寺院。了雲院にっとう日登上人開基。本尊日蓮聖人。七面堂の七面大明神(七面天女)が女性の信仰を集めた。七面天女の伝説が伝えられている。
- 4 **八幡宮・庄園の松**
祭神菅田別命。元は妙教寺の鎮守。境内にあった黒松は国の天然記念物で樹齢385年。かつては「明神松」と呼ばれた。現在、根株が松霊明神として祀られる。
- 5 **伊豆石の住宅と倉 (棕本家) 私**
伊豆石の住宅兼店舗は大正12年建築。伊豆石の倉は昭和11年、大瀬から移築。
- 6 **伊豆石の倉 (花井家) 私**
明治終わり頃建築。藍染め用の倉として使用。隣に藍染めの作業場があった。
- 7 **龍燈 (北新田)**
昭和32年建築。灯籠はないが、瓦製の灯籠台のみが残されている。
- 8 **浅間神社跡**
富士の浅間神社の神官を務めた花井文右衛門家が勧請したという。大正4年、神明宮に合祀。跡地は浅間公園となる。
- 9 **馬頭観音 私**
旅人の馬が付近で亡くなり、供養のため建てられたという。風化が進んでいる。
- 10 **秋葉山常夜灯 (清水)**
明治37年8月建立。平成18年道路拡幅の時、移転改築。1月に幟を立てる。
- 11 **寺島尋常小学校跡**
明治21年、校舎が新築され、大伝寺より移転。明治25年寺島尋常小学校として独立。明治41年、横須賀に北浜尋常小学校が設置されるまで続く。江戸時代には椿薬師(現在西隠寺境内)があった。

- 12 **天神社跡 私**
祭神は菅原道真(学問の神)。明治以前の社守は辻治平。明治7年、神明宮に合祀。
- 13 **十王堂跡 私**
江戸時代の天保14年以前の村絵図によると、四つ角南東に十王堂があった。現在の西隠寺十王堂との関連が予想される。
- 14 **秋葉山常夜灯 (本田)**
明治20年11月建立。石工は浜松紺屋町の佐藤善三郎。もと山下商店角にあった。
- 15 **馬頭観音 私**
「馬頭観世音」と刻まれる。昭和16年頃、袴田氏が事故死の馬を供養するため建立。
- 16 **龍燈と秋葉山常夜灯 (山王)**
内山氏宅角より昭和3年、さらに昭和63年に現在地に移転改築。常夜灯は、明和5年(1768)11月建立。市認定文化財「あきは山」と記された灯明箱が残る。
- 17 **山王権現社 (日吉神社) 跡**
明治以前の神官は袴田多左衛門家。朱印4石8斗の寄進を受けた。明治7年、神明宮に合祀。家光から9代の朱印状写しが残る。
- 18 **半僧坊里程石 (五里十五丁) 私**
奥山方広寺の鎮守、半僧坊への参拝者のために道のりを示した。明治18年頃の建立。「五里十五丁」、袴田氏の名が刻まれる。
(以下、全4基とも市認定文化財)
- 19 **半僧坊里程石 (四丁) 私**
もと40m南の袴田氏宅前の旧道角にあった。文字が半分程欠損。五里十四丁か。
- 20 **半僧坊里程石 (二丁) 私**
市川氏宅前付近に倒れていたが、再建された。上部が欠損。側面に大村武平氏・中安吉平氏の名がある。五里十二丁か。
- 21 **伊豆石の倉 (市川家) 私**
昭和3年、市川利一郎氏が建築。Ⓔの軒瓦。戦前綿織物業の倉として使用。
- 22 **西隠寺18世原田頑翁石の墓 私**
頑翁石は江戸から明治にかけての西隠寺中興、質素に努め励み、徳が高く人望あり。天皇より紫衣を賜る。明治9年示寂、19世石翁が頑翁石の事績を刻んだ墓を建立。

23 松源山西隠寺 しょうげんざん

臨濟宗方広寺派の寺院。南北朝時代の永徳元年（1381）奥山三生院二世暘谷玄輝和尚開山。本尊釈迦牟尼仏。將軍より朱印6石2斗の寄進を受ける。明治18年焼失、19年本堂再建。平成27年本堂改築。鎮守は摩利支尊天。

24 椿薬師如来（市認定文化財）

江戸時代の遠江国風土記伝に「椿一株を靈木となす 御体は石なり」と記される。薬壺を持つ。病を治し寿命を延ばす御利益がある。元禄・宝永頃（1700年頃）の9世黙源和尚の造立。

25 大乘妙典千部供養塔

享保12年（1727）10世瑞龍和尚が、大乘妙典を千回読誦した記念に建立。宝篋印塔等の部材で建て直されている。石仏群の左右両端に、門前・東新田から移された馬頭観音と言われる2体がある。

26 半僧坊里程石（五里十〇〇）

笠井より西ヶ崎を通る半僧坊道で、若草団地南端東交差点の南東角にあった。北西角に移設。道標を兼ねる。下部が欠損。

27 神明宮（もと神明社外宮）*宮東遺跡

平安時代後期に美藪御厨を守護する神社として伊勢神宮より勧請されたと推定される。朱印5石6斗を受ける。明治以前の神官は花井文右衛門家。明治7年に内宮・外宮・他社を合祀し、主祭神は天照大神。昭和37～38年本殿・拝殿改築。

*神明宮周辺は、鎌倉時代の山茶碗等の破片が散見する宮東遺跡となっている。

28 日清日露戦捷記念碑・忠魂碑 せんしゅう

明治27年の日清戦争、37年の日露戦争の勝利を記念した記念碑（従軍者32名）と日露戦争の戦没者（6名）を慰霊する忠魂碑。明治44年建立。

29 龍燈（間渡）

昭和38年、神明宮東入口より移転・改築。天保13年（1842）の棟札がある。法主は修験者全學院良慶（永安寺住職）。瓦製灯籠と灯明箱が残る。

30 馬頭観音 私

馬頭観音ではないかというが不明。側面に「念仏供養」の文字が刻まれる。上部欠損。7～80年前にはあったという。

31 馬頭観音 私

中安氏の曾祖父が馬を飼い、祖父が「馬勝っちゃ」と呼ばれ、馬の子を育てた。昭和18年、馬の供養のため建立した。

32 土蔵（大村家） 私

建築年は不明。雨樋受けの折れ釘が大きく飾りとなる。

33 土蔵（中安家） 私

大正～昭和の初め、中安時十郎氏が建築。米などを貯蔵。忠一氏の神明宮梵天が残る。

34 土蔵（源馬家） 私

大正～昭和の初め、中安時十郎氏が建築という。正面腰は、なまこ壁。

35 伝東光寺跡 私

本田の大村氏がかつて南崎で染め物屋を営んでいたが、東光寺が付近にあり、転居後も「東光寺」の屋号で呼ばれた。

36 八幡宮跡 はんだわげのみこと

祭神菅田別命。明治7年、神明宮に合祀。

37 牛頭天王社（八坂神社）跡 ごすてんのう

疫病を司る神（後に須佐男命とされる）で、疫病除けの御利益があるとされる。明治7年、神明宮に合祀。

38 地蔵菩薩

光背に「安政六未年 願主申年男」（1859）と刻まれる。笠井上村の地蔵と二体呼応して行ったり来たりしたという。

39 土蔵（中安家）（市認定文化財） 私

大正10年建築の最大級の土蔵。唐破風の瓦葺きひさは、昭和6年建築。七福神の瓦像が載る。棟梁は共に中安時十郎氏。大正時代から中の屋号で織物業を営む。

40 長富山大伝寺 ちやうふざん

臨濟宗方広寺派の寺院。鎌倉時代の宝治2年（1248）、法燈圓明国師大和尚開山。阿弥陀堂として開創。文禄2年（1593）方広寺末となる。本尊阿弥陀如来。100年に一度のご開帳。將軍より朱印3石5斗

の寄進を受ける。明治35年本堂建築。

41 木舟新田学校寺島分校・寺島学校跡

明治6年木舟新田学校が長泉寺に開校し、同7年寺島分校が大伝寺に開校。同10年寺島学校として独立。その後、校名が変わりながら同21年、新校舎が旧公会堂の地に建設されるまで、大伝寺で授業が行われた。

42 寺島の道祖神 (市認定文化財)

舟形に彫られた中に2体の像が肩や腕を組む姿。村の魔除け、行路の安全、子孫繁栄を願う。道標を兼ね「左 平口不どう」とある。もと東の三叉路にあった。

43 弘法大師像 (市認定文化財)

文化13年(1816)頃始まった新四国八十八か所巡りの88番札所。江戸時代流行した弘法大師(空海)ゆかりの地巡りになぞらえた小さな巡礼が行われた。

44 渥美知新翁句碑

温古堂渥美知新(渥美代助)は松島十湖に俳句を学び、宗匠となる。「すらすらと 月は昇りて 水の中」の句が刻まれる。十湖門人等により昭和30年10月建立。

45 水野久平の碑

三河生まれの久平は、明治20年笠井上村に来て、織機の改良・発明考案をし、遠州織物の品質向上発展に寄与、「はたくきゅう機具久さ」と呼ばれた。高柳遠市などの弟子たちにより昭和9年3月に建立。

46 聖観音・西国三十三観音供養像

台座に、15世空萬石和尚が、宝暦12年(1762)大般若経真読満願と西国三十三観音を集め供養したことが刻まれている。16世龍水蓮和尚が造立。当時のものか不明だが、本堂に観音堂から移された三十三観音が安置されている。

47 二六信用銀行跡

明治33年、源馬房次郎氏・花井要一郎氏等が二六合資会社を設立。その後、明治38年3月に資本金10万円・株券額50円で二六信用銀行を設立、昭和4年5月まで営業した。

48 牛頭様 (牛頭天王)

神仏混合の疫病除けの神。社内に9枚の棟札が残されている。古くは約200年前から東新田の氏子により祀られている。法主に永安寺住職でもある修験者の全學院良慶の名の棟札がある。

49 龍燈 (東新田)

平成4年建立。もと永安寺付近にあったが、明治初めに移転。灯籠はない。牛頭様と共に1月に龍燈祭りを行っている。

50 永安寺跡 私

真言宗の修験道寺院で檀家はない。創建は不明。江戸時代終わりの住職である全學院良慶は、村内外の祭祀や祈祷を行った。大正10年頃台風のため倒壊し廃寺。最後の住職は石神寛三郎氏(良寛)。

51 馬頭観音 私

市川氏宅内の裏に安置。明治時代に飼っていた馬が火事で亡くなり、供養のため造立。もと北裏の道角にあった。

52 中安家の主屋 私

江戸時代に庄屋を務めた中安家の分家。明治24年建築。家人の使う通用口の他に、客人を送迎する式台玄関と部屋が設けられている。土間の一部は取り除かれている。隣の本家跡にレンガ造りの倉と門が残る。

53 寺島天神遺跡

道路建設に伴い、戦国時代から江戸時代の陶器破片が多く見つかっている。



* 私 私有地に入って見学する場合は許可を得てください。

* 詳しい説明は、冊子または HP ホームページ「寺島の歴史を探る」を参照。

寺島歴史マップ

作成 太田隆雄 (寺島7班)

TEL 053-587-3063

発行 令和4年10月1日 令和5年8月1日改訂
浜松市浜北区寺島自治会